

やってみよう!



伊那市
INA CITY
市民生活部 生活環境課
☎0265-78-4111
(内線 2211)



省エネ・再エネ・エコライフ生活

伊那市は「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指します!

伊那市は、平成28年12月に「伊那から減らそうCO₂!!～伊那市二酸化炭素排出抑制計画～」を策定し、木質バイオマスをはじめとする再生可能エネルギー設備の導入や公共施設の照明LED化などに取り組んでいます。

また、豊かな環境を次代に引き継ぐために目標を掲げ、令和3年3月に「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指すことを宣言しました。

伊那から減らそうCO₂!! (計画期間：H28～R7)

- 【目標①】一般家庭のCO₂総排出量に対する再生可能エネルギーによる抑制割合を **53%**にする (令和4年12月実績：34.12%)
- 【目標②】再生可能エネルギーのうち、木質バイオマスによるCO₂抑制量を平成28年度の **8倍**にする (令和4年12月実績：3.21倍)



伊那から
減らそう
CO₂!!

「2050年カーボンニュートラル(=ゼロカーボン、脱炭素)」とは、『2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすること』です。
※実質ゼロ…森林が吸収する二酸化炭素の量などを差し引いて、全体を±0(プラマイゼロ)にすることです。



2050年カーボン
ニュートラル宣言

どうすれば「カーボンニュートラル」が実現できるの?

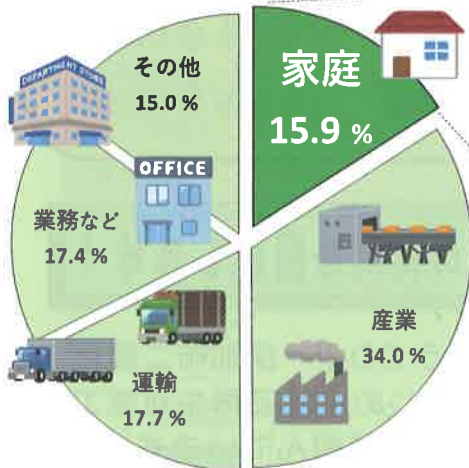
「2050年カーボンニュートラル」を実現するためには、次のような取り組みにより、CO₂の排出を抑制することが必要です。

- ① エネルギー資源を無駄なく効率的に使用する(省エネルギー=**省エネ**)
- ② 使用するエネルギーを、石油などの化石燃料から、太陽光や木質バイオマスなどによるエネルギーに転換する(再生可能エネルギー=**再エネ**)

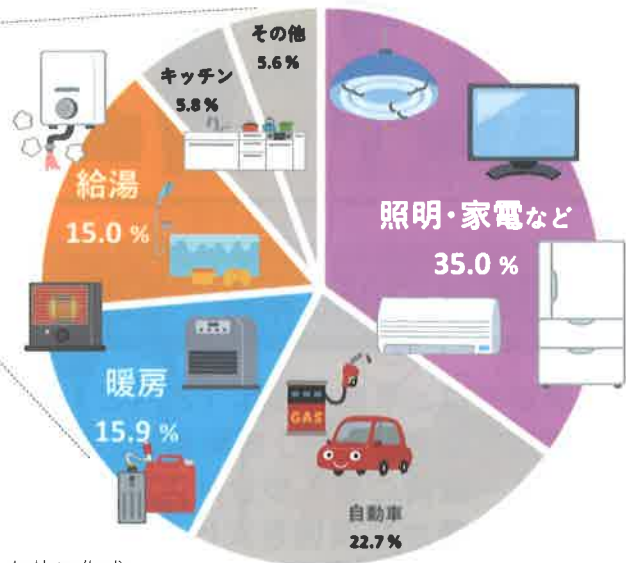


私たちの生活からCO₂はどれくらい出ているの？

日本のCO₂はどこから？
(2020年度)



家庭のCO₂はどこから？
(2020年度)



[出典] 国立環境研究所
温室効果ガスインベントリオフィスのデータを基に作成

日本で排出されるCO₂のうち、家庭から排出される割合は15.9%です。家庭から排出されるCO₂の主なものは、**照明・家電など**(35.0%)、**暖房**(15.9%)、**給湯**(15.0%)で、全体のおよそ3分の2を占めます。

「照明・家電など」から排出されるCO₂を減らすには？

答えは、ズバリ「**省エネ**」です！
家庭でできる「CO₂の排出量を減らすための省エネ術」をご紹介します。

省エネ術① ～照明のLED化～



54Wの白熱電球を「9WのLED電球」に交換すると…
年間で、①**90kWh**の電気の省エネ、②**43.9kg**のCO₂排出量の削減、
③**約2,790円**の節約になり、家計にも環境にもやさしい！

※電球1個あたり：電気料金単価27円/kWh、年間使用時間2,000時間で試算



[出典] 経済産業省 資源エネルギー庁「無理のない省エネ節約」

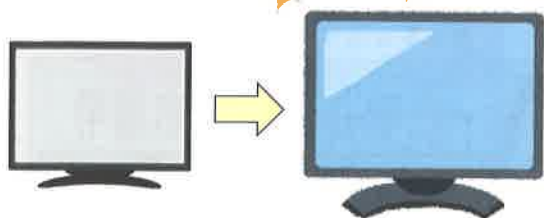
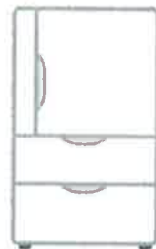
省エネ術② ～省エネ家電に買い換え～

【冷蔵庫】



CO₂排出量が
年間 118.2 kg
削減できる！

電気料金が
年間最大 7,050 円
お得！



【テレビ】



CO₂排出量が
年間 48.4 kg
削減できる！

電気料金が
年間 2,890 円
お得！

【出典】しんきゅうさん「かんたん比較」

買い換え前にチェックしよう！



買い換え前後の電気代を比較できます



★が多いほど
省エネ！

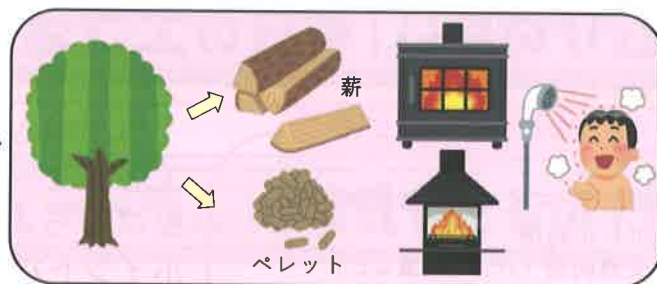
年間電気料金の
目安

省エネ性能はラベルで確認できます

「暖房」「給湯」のエネルギー源を木質バイオマスに！

家庭から排出されるCO₂のおよそ3割（30.9%）は、「暖房」や「給湯」によるもので、そのエネルギー源は、「電気・ガス・灯油」が多くを占めています。

木材から創る（つくる）再エネの「木質バイオマス」をエネルギー源とする暖房器具や給湯設備を使うことにより、CO₂の排出量を減らすことができます。



薪ストーブやペレットストーブ等の設置に対する補助を行っています。

【伊那市山林資源活用機器設置補助金（令和8年度まで毎年度予算の範囲内）】

- ・薪ストーブ：補助率 3分の2 以内（上限 30万円）
- ・ペレットストーブ： // （上限 42万円）
- ・ペレットボイラー（住宅等）： // （上限：200万円）
- ・ペレットボイラー（事業所）： // （上限：300万円）

※ ペレットボイラーは令和5年度から



詳細はこちら



身近な再エネ「太陽エネルギー(光・熱)」の活用を!

太陽エネルギー(光・熱)を利用して、わたしたちの生活に必要な「電気」と「お湯」を創ることができます。

もっとも身近な再エネを活用して、CO₂の排出量を減らしましょう。



太陽光発電設備・定置型蓄電設備や太陽熱利用システムの設置に対する補助を行っています。

【伊那市太陽エネルギー利用設備設置補助金(令和8年度まで毎年度予算の範囲内)】

- ・太陽光発電設備(既存住宅): 14万円/kW(上限70万円)
- ・ // (事業所): 10万円/kW(上限500万円)
- ・定置型蓄電設備(既存住宅): 7.75万円/kWh(上限77.5万円)
- ・ // (事業所): 9.45万円/kWh(上限189万円)
- ・太陽熱利用システム: 補助率3分の2以内(上限60万円)



詳細はこちら

ムリのない「毎日のエコ活動」でCO₂削減を!

毎日のエコチェック ☑

- レジ袋辞退・マイバッグ持ち歩き
- マイボトル利用
- 公共交通利用(バス・鉄道など)
- アイドリングを5分短くする
- エコドライブ(ふんわりアクセル)
- 部屋の電気をこまめに消す
- 食品ロス削減の実施(食事を残さない)
- エアコンの設定温度を2℃ゆるやかに
- 主電源をこまめに消す
- シャワーの使用を1日1分短くする

市が中心となって運営するシェアリングエコノミー専用サイト「**こころむすび**」に日々のちょっとしたエコ活動を登録するとポイントが獲得でき、あなたや仲間のエコ活動の成果や環境への貢献度(CO₂削減量など)が「見える化」されます。

日々の暮らしの中で、楽しみながらエコ活動(CO₂削減)に取り組んで、サステナブルで豊かな生活を送りましょう。



こころむすび